

令和4年(2022年) 10月14日(金) 13982号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: <http://homenikkankinzoku.co.jp/>

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

二次地金同合金地金8月 生産・出荷 前年比12か月連続マイナス 日本アルミニウム合金協会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会(山本隆章会長)はこのほど、2022年8月の二次地金同合金地金等生産実績を発表した。

生産(自家・受託合計)は51,855トンで前年同月比94.2%、出荷(販売・その他合計)は52,308トンの同94.3%。生産、出荷の同比はともにマイナスの12か月連続マイナスとなった。

前年同月比は、7月の生産が84.5%、出荷は85.4%で、これに比べ8月はともに上昇した。また、8月の対7月比では、生産は84.8%、出荷は85.3%となっている。

産業部門別出荷(二次地金同合金地金同ピレット等)の前年同月比は、全8部門(粉除く)のうち鋳物と鉄鋼、輸出がプラスだったが、他のダイカストや板などはマイナス。

ポイントの幅は、板の輸出のプラス45.0ポイントから押出のマイナス28.9ポイントまでとなっている。

社会の発展とその未来に
 テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセン EM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>

協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO., LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

アルミニウム二次地金同合金地金等生産実績(1)

(一社)日本アルミニウム合金協会

1. 地区別製品生産 (単位: トン)											
区分	月初在庫	受入				消費	出荷			通欠補正	月末在庫
		自家生産	受託生産	その他	計		販売	その他	計		
東	9,017	17,290	1,158	30	18,478		17,319	1,137	18,456		9,039
中	6,326	17,641	761	473	18,875	121	17,403	1,194	18,597		6,483
近	5,188	9,742	1,581	58	11,381		10,105	1,586	11,691		4,878
九州四国中国	2,558	3,555	127	0	3,682	1	3,477	87	3,564		2,675
計	23,089	51,855	3,627	561	52,416	122	48,304	4,004	52,308	0	23,075
前年同月比%		94.2							94.3		93.2

2. 品種別製品生産 (単位: トン)											
区分	月初在庫	受入				消費	出荷			通欠補正	月末在庫
		自家生産	受託生産	その他	計		販売	その他	計		
二次地金	503	3,965	2,030	74	6,069		3,869	2,100	5,969		603
合金地金	20,364	41,699	763	47	42,509	121	41,631	769	42,400		20,352
ピレット	5	84	0	0	84		84	0	84		5
母合金	1,687	759	749	352	1,860	1	794	1,085	1,879		1,667
ベースメタル	530	1,721	85	88	1,894		1,926	50	1,976		448
その他	0	0	0	0	0		0	0	0		0
計	23,089	48,228	3,627	561	52,416	122	48,304	4,004	52,308	0	23,075

3. 産業部門別出荷 (単位: トン)										
部門別	鋳物	ダイカスト	板	押出	鉄鋼	合金地金メーカー向け	粉	輸出	その他	計
品名										
アルミニウム二次地金同合金地金同ピレット等	14,232 (101.9)	28,177 (91.2)	3,822 (90.8)	835 (71.1)	3,245 (101.5)	1,880 (98.6)	- (-)	58 (145.0)	59 (50.9)	52,308 (94.3)

() 内数字は前年同月比 %

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



9月のアルミ概況および10月の見通し (3)

予想レンジ

LME現物後場買い	2,000-2,200ドル	傘
スクラップ	0~+5円(前月最終価格より)	●
為替	140円~145円	円安

(1か月間TTM)

■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると8月の自動車生産台数は前年比+22.3%の55万1,799台。輸出は前年同月比+15.3%の27万182台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると8月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+17.8%の24万2,042台。

内訳は、乗用車が+24.7%、貨物が-14.9%、バスは-3.2%。

【住宅着工戸数】

8月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比4.6%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比9.4%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は77,712戸。前年同月比4.6%増、4か月ぶりの増加。

○新設住宅着工床面積は6,178千㎡。前年同月比0.5%増、4か月ぶりの増加。

○季節調整済年率換算値では903千戸。前月比9.4%増、先月の減少から再びの増加。

【アルミ圧延・押出生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の12万9,352tで5か月連続マイナス。

板類は7万8,544tの-4.8%で4か月連続マイナス。

押出類は5万808tの-3.8%で8か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は、-5.8%の5万1,855tで12か月連続マイナス。

出荷は、-5.7%の5万2,308tで12か月連続マイナス。

【輸出】

新地金は+3.6%の138t、2次合金は-19.8%の1,864t、スクラップは+62.8%の3万2,559t、アルミ缶は-7.6%の6,335t。

【輸入】

新地金は-11.7%の11万4,496t、2次合金は-0%の9万1,766t、スクラップは+47%の597t、

合金スクラップは-14%の5,567t。

【見通し】

【自動車】

8月の自動車生産が+22.3%。8月国内販売台数が前年比+17.8%。9か月ぶり生産、販売共に大幅増加。

中国のゼロコロナ政策の影響は残るものの自動車向けに積み上げてきた部品の在庫が掃けてきたとの情報が入ってきており、今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

【アルミ圧延・押出生産数】

住宅着工の増加により来月以降に期待。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

中国のゼロコロナ政策の影響は残るものの自動車向けに積み上げてきた部品の在庫が掃けてきたとの情報が入ってきており、今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

・アルミ輸出は中国向けや円安を受けて新地金、スクラップが増加。

・アルミ輸入は円安での割高感からスクラップ以外減少。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は欧米の金融引き締め策からLME価格が2,100-2,200ドルと低位安定。入荷も少なそう。需要面に関しては中国のゼロコロナ政策の影響は残るものの自動車向けに積み上げてきた部品の在庫が掃けてきたとの情報や自動車生産。販売の急回復を受けて来月も自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米欧の金融政策 ②中国のコロナ対策(ロックダウン)の動向。

①に関しては、米国に関して引き締め一辺倒のFRB。9月の米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数が50.9と市場予想(52.0)を下回り、2020年5月以来の水準に低下した。

好不況の境目とされる50割れが視野に入り、景気減速でインフレ率が低下するとの見方もあるがパウエル長官の意志は固くやはり次回も0.75%の利上げを行うのではないかと。

ECB(欧州)に関しては欧州金融大手クレディ・スイス・グループの財務不安観測から利上げペースと鈍化させるのではないかと。

②に関しては、国慶節の連休明けの10月10日以降で大規模なロックダウンへの警戒感はあるが現状は未知数。

これらを踏まえた9月のアルミ価格は2,000-2,200ドル(セツル)との予想。

ドル円値は140円~145円(TTM)台を予測。

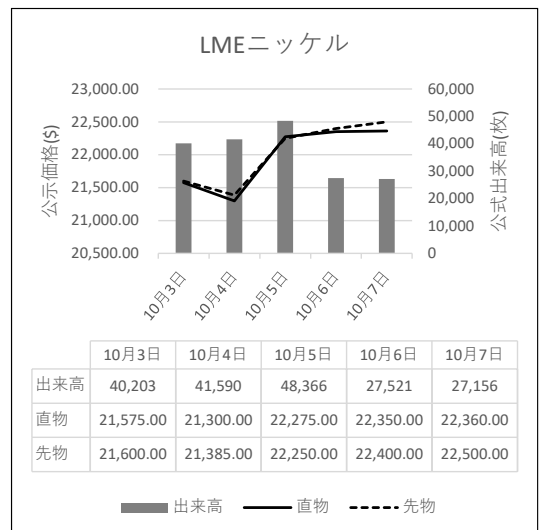
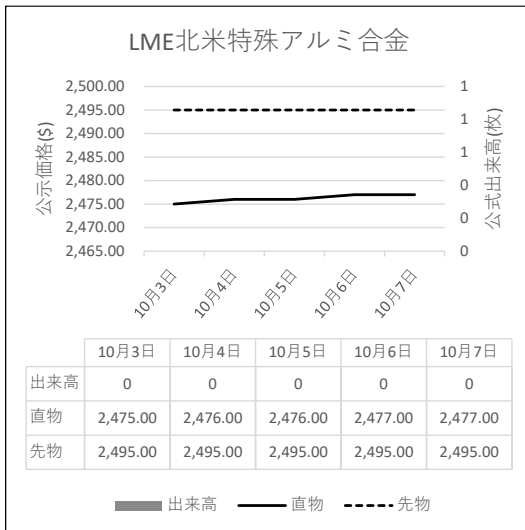
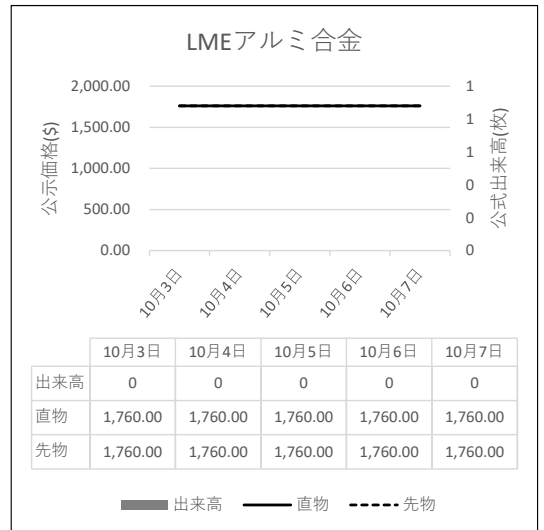
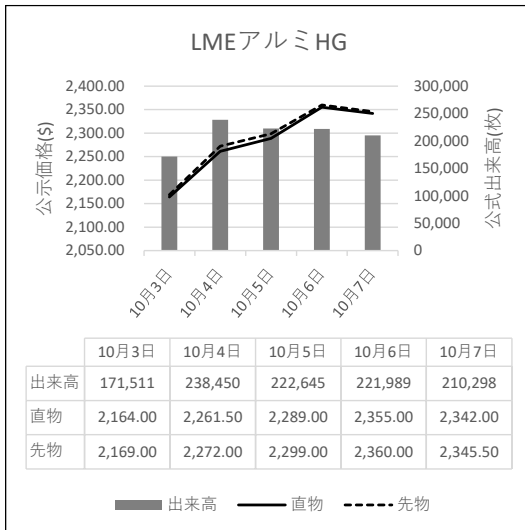
スクラップ購入価格に関しては、据置から+5円程度と予想している。

(「9月のアルミ概況および10月の見通し」おわり)

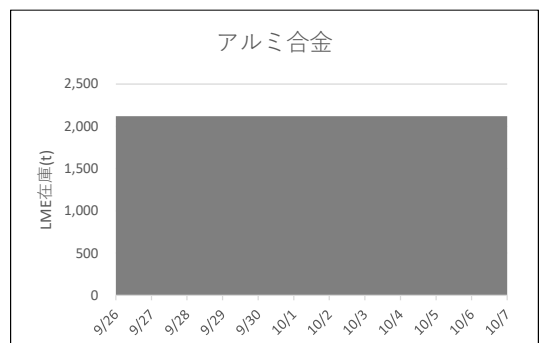
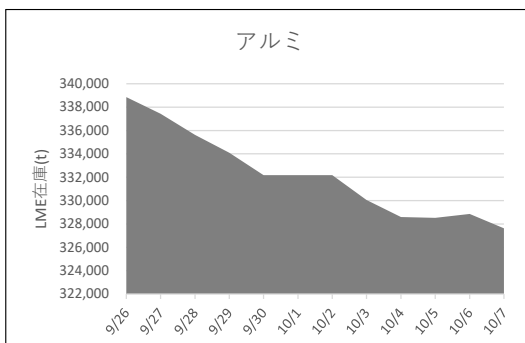
日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>


LME公式値週間推移 10月3日~10月7日(現地)



LME認定倉庫在庫量推移 9月26日~10月7日(現地)



nikkankinzoku.co.jp
PW nikkinkin202210

故銅市況

13日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,587.00ドルより38.50ドル高の7,625.50ドル。直物の終値は、前営業日の7,661.25ドルより25.25ドル安の7,636.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,525.00ドルより40.00ドル高の7,565.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,596.00ドルより51.00ドル安の7,545.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の346.20セントより3.70セント安の342.50セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の11月限は、前営業日の6万2,300元より50元高の6万2,350元。

13日の東京為替市場TTSレートは、前日の147.20円より0.74円の円安ドル高、1ドル=147.94円。13日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,625.50ドル。この値と13日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の115万4,000円より1万2,000円高の116万6,000円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円) (10月5日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1014~1019、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは979~984、並銅は944~954、込銅（高品位＝約97%）は934、セバは678~683。コーペルは要り用筋で619、それ以外は604ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋629、それ以外599~609どころの値頃。並青銅鋳物削粉は826~831どころ。

小口市相場（1トン前後）では、ピカ線が994~1014、上銅新くずが959~979、普通上銅が934~954、2号銅線が926~946、並銅が924~944、込銅（94-97%）が872、込銅（90-93%）が874、下銅が423~473、セバが643~678、コーペルが559~604、黄銅棒地が554~599、黄銅削粉が549~594、黄銅ラジが514~522、交叉ラジが544~601、黄銅銅鋳物が531~538、送りが297~316、上青銅鋳物が823~843、並青銅鋳物が803~818、上青銅鋳物削粉が818~838、並青銅鋳物削粉が793~813どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区（10月前半）

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=116円~230円、ビス付サッシ=97円~106円、エンジンコロ=110円~118円、込合金（機械鋳物）=103円~111円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区（10月前半）

2S=198円~200円、63S=200円~235円、印刷版=190円~195円、アルミホイール(1P)=181円~194円、ベースメタル=154円~158円、機械鋳物=106円~109円、ダライ粉=85円~88円、ビス付サッシ=83円~118円、缶プレス=83円~88円。

この日、電気銅建値は117万円に据え置かれた。

為替動向

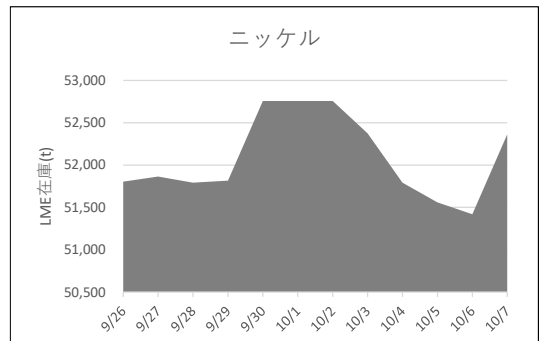
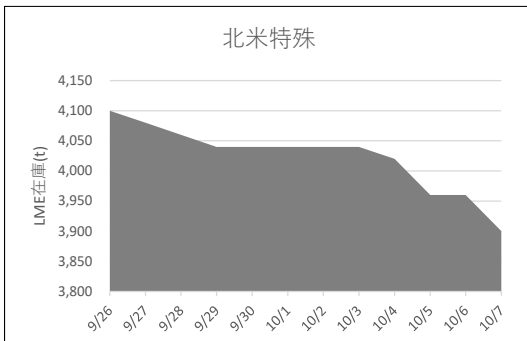
12日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=0.9690ドル~0.9700ドルで推移した。ECBの大幅利上げの継続でユーロ圏の景気先行きを懸念、ユーロ売りドル買いが優勢になった。

12日のニューヨーク外国為替市場で円相場は5営業日の続落となった。前日と比べ1.05円の円安ドル高、1ドル=146.85円~146.95円で取引を終えた。この日発表された米国の9月PPIは前月比0.4%の上昇となり市場予想の0.2%増を上回った。インフレ圧力の強さを再認識させるものでFRBの金融引き締めが長期化するとの見方が改めて意識された。

13日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.58円の円安ドル高、1ドル=146.74円~146.76円で推移した。前日に発表された米国のPPIが市場予想を上回る内容となりFRBの金融引き締めが長期化するとの見方から円売りドル買いが優勢になった。12日に公表された9月のFOMC議事要旨で多くの参加者がインフレ抑制に向けた積極的な金融引き締めを継続する姿勢を示していたことも円相場の重荷となった。

円は対ユーロでも下落。同じく同0.55円の円安ユーロ高、1ユーロ=142.43円~142.45円で推移した。

LME認定倉庫在庫量推移 9月26日~10月7日(現地)





LME銅相場は反発 直物終値は7,636.00ドル
 COMEX銅相場は反落 SHFE銅相場は続伸
 LME非鉄相場はまちまち アルミ直物終値は2,319.50ドル



13日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、10月12日入電の7,587.00ドルより38.50ドル高の7,625.50ドル。反発して0.51%高。この週0.66%の上伸。10月に入って0.28%の下落。3か月物の前場売値は、10月12日入電の7,525.00ドルより40.00ドル高の7,565.00ドル。反発して0.53%高。この週0.15%の上伸。10月に入って0.32%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地10月11日の14万5,750トンより225トン減の14万5,525トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、10月限が、10月12日入電の347.80セントより3.35セント安の344.45セント。3営業日ぶりの反落で0.96%安。この週0.94%の上伸。10月に入って0.07%の上伸。11月限は、10月12日入電の347.30セントより3.70セント安の343.60セント。3営業日ぶりの反落で1.07%安。この週0.98%の上伸。10月に入って0.17%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、10月限が、10月12日入電の6万3,910元より120元高の6万4,030元。5営業日の続伸で3.19%高。この週3.19%の上伸。10月に入って3.37%の上伸。中心限月に当たる11月限は、10月12日入電の6万2,300元より50元高の6万2,350元。5営業日の続伸で2.10%高。この週2.10%の上伸。10月に入って1.18%の上伸。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、10月12日入電の2万0,300.00ドルより295.00ドル安の2万0,005.00ドル。3営業日ぶりの反落で1.45%安。この週0.03%の上伸。10月に入って3.59%の下落。3か月物の前場売値は、10月12日入電の2万0,150.00ドルより245.00ドル安の1万9,905.00ドル。3営業日ぶりの反落で1.22%安。この週0.23%の下落。10月に入って4.07%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地10月11日の4,600トンより20トン減の4,580トン。

鉛は反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、10月12日入電の2,030.00ドルより50.00ドル高の2,080.00ドル。反発して2.46%高。この週0.10%の上伸。10月に入って10.11%の上伸。3か月物の前場売値は、10月12日入電の1,991.00ドルより34.00ドル高の2,025.00ドル。反発して1.71%高。この週1.22%の下落。10月に入って7.31%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地10月11日の3万1,275トンより100トン増の3万1,375トン。

亜鉛はまちまち

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、10月12日入電の2,966.00ドルより6.00ドル高の2,972.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.20%高。この週2.92%の下落。10月に入って0.47%の下落。3か月物の前場売値は、10月12日入電の2,947.00ドルより2.00ドル安の2,945.00ドル。4営業日の続落で4.10%安。この週3.38%の下落。10月に入って0.36%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地10月11日の5万3,275トンより175トン減の5万3,100トン。

アルミは反発 アルミ合金は横ばい 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、10月12日入電の2,218.50ドルより8.50ドル高の2,227.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.38%高。この週4.91%の下落。10月に入って2.16%の上伸。3か月物の前場売値は、10月12日入電の2,215.50ドルより4.50ドル高の2,220.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.20%高。この週5.35%の下落。10月に入って1.05%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地10月11日の32万5,800トンより1万0,475トン増の33万6,275トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、10月12日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、10月12日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、10月12日入電の2,484.00ドルより5.00ドル安の2,479.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.20%安。この週0.08%の上伸。10月に入って0.16%の上伸。3か月物の前場売値は、10月12日入電より横ばいの2,495.00ドル。この週横ばい。10月に入って横ばい。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、10月12日入電の2万2,400.00ドルより650.00ドル安の2万1,750.00ドル。反落して2.90%安。この週2.73%の下落。10月に入って2.42%の下落。3か月物の前場売値は、10月12日入電の2万2,360.00ドルより575.00ドル安の2万1,785.00ドル。反落して2.57%安。この週3.18%の下落。10月に入って2.53%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地10月11日の5万2,026トンより702トン増の5万2,728トン。

LME公示価格(US\$)／10月12日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,625.50	20,005.00	2,080.00	2,972.00	2,227.00	1,760.00	2,479.00	21,750.00
	前営業日比	38.50	▲ 295.00	50.00	6.00	8.50	0.00	▲ 5.00	▲ 650.00
先物	公示価格	7,565.00	19,905.00	2,025.00	2,945.00	2,220.00	1,760.00	2,495.00	21,785.00
	前営業日比	40.00	▲ 245.00	34.00	▲ 2.00	4.50	0.00	0.00	▲ 575.00

海外非鉄金属相場

(10月13日 入電・現地 10月12日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

NYコモックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table showing monthly and daily price trends for Copper (銅HG), Gold (金), Silver (銀), Platinum (プラチナ), and Palladium (パラジウム).

採算価格
フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table of procurement prices (採算価格) for various metals in different units.

フリー・マーケット

Table for US Producer Prices (米国生産者価格) for Gold (地金) and NY market prices.

Table for London market prices (ロンドン相場) in Dollars.

Table for KLT M prices (MYR/KG, 出来高トン) for various metals.

Table for LME inventory (LME在庫) in tons for various metals.

Table for Shanghai inventory (上海在庫) in tons for various metals.

Table for LME Pre-market prices (LMEプレマーケット) in Dollars.

Table for Shanghai market prices (上海相場) in Yuan per ton.

Table for COMEX and Shanghai prices (COMEX, 上海) in Yuan per ton.

Table for COMEX and Shanghai prices (COMEX, 上海) in Yuan per ton, including exchange rates.

非鉄金属製品相場

(10月13日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1480	1435	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1530	1485	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1610	1635	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1660	1635	鉛板1.5ミリ	589	589	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1570	1545	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1390	1405	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1445	1450	アルミ箔0.007ミリ	1125	1145	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1470	1465	〃 小板1ミリ	760	775	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1400	1385	〃 大板1ミリ	740	765	14sq 207~220
銅平角線	1670	1655	〃 5052板	795	815	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1240	1285	〃 6061板	1325	1345	600V 3C×38 1580~1679
〃 0.3ミリ	1270	1315	〃 2017板	1250	1375	600V 3C×60 2430~2583
黄銅大板2×1×2	1390	1465	〃 線3ミリ	740	760	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1750	1740	〃 快削棒50ミリ	960	980	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1720	1710	〃 合金棒50ミリ(17S)	945	960	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1010	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	900	920	CVV (関西-関東)
六角棒	1040	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1070	1120	白金(グラム)		◎ 4671	4C×2 168-172
鍛造用	1050	1100	パラジウム(グラム)		◎ 11385	6C×2 237-243
ネーバル	1150	1200	金(グラム)		◎ 8731	7C×2 271-278
高力	1150	1200	銀(キログラム)		◎ 100980	合金鉄 8月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1415	1440	レアメタル輸入価格	8月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 185
黄銅平角線ロール仕上	1615	1650	金属ケイ素(99.99%未満)	487		〃 その他 345.8
黄銅条1.5×100	1235	1275	モリブデン酸化物	3759		フェロシリコン55%以上 337
リン青銅板一般用1.0ミリ	2540	2730	タンタル	65085		フェロクロム4%以上炭素含有 330.5
〃 バネ用0.3ミリ	2780	2980	マグネシウム	512		フェロモリブデン純分60%以上 4033
リン青銅棒25ミリ	2700	2910	コバルト	10464		フェロバナジウム 4010
リン青銅線3ミリ	3010	3220	インジウム	28300		フェロニッケル33%未満 875.6
洋白板一般用1.0ミリ	3580	3730				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3750	3910				

減 摩 合 金	10月3日改定	銅 合 金 地 金	9月1日発表
500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4085	BC 1種	1215
2種	3990	2種	1535
3種	3880	3種	1615
4種	3420	6種	1295
5種	3240	7種	1425
7種	1260	YBSC 3種	1095
8種	1130	LBC 3種	1560
9種	960	PBC 2種	1635



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(10月13日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 45,000(1)					
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地	金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	山元建値	電気銅				
1 トン以上外税持込					高値	安値	1170(5)	金	7,125(13)			
2 号 銅 線	1055	1052	電 気 銅	◎ 1132	◎ 1127	◎ 1134	◎ 1129	() 実施日	電気鉛	360(7)	銀	91,720(13)
上 銅 (新 切)	1026	1020	電 気 亜 鉛	465	459	465	459	電気亜鉛	481(12)	錫(99.99%)	4,450(3)	
雑 ナ ゲ ッ ト	884	882	蒸 留 亜 鉛	453	447	453	447					
並 銅	968	950	再生ダイカスト亜鉛2種	379	373	379	373					
下 銅	949	921	再 生 亜 鉛 (98%)	329	323	329	323					
銅 削 粉	943	924	電 気 鉛	339	336	339	336					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 1 号	321	311	318	313					
新 切 黄 銅 セ バ	794	800	再 生 鉛 3 号	326	322	323	319					
コ ー ベ ル	762	758	錫 1 号	3150	3100	3150	3100					
黄 銅 棒 地	760	746	ア ン チ モ ン	2000	1950	2000	1950					
黄 銅 削 粉	754	742	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◎ 3300	◎ 3250	◎ 3300	◎ 3250					
並 黄 銅	665	637	コ バ ル ト	9000	8700	9000	8700					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	574	560	セ レ ニ ウ ム	◎ 3400	◎ 3200	◎ 3400	◎ 3200					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	613	588	ビ ス マ ス	1450	1350	1450	1350					
黄 銅 鑄 物	670	—	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
山 送 り (55%)	360	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	525	505	525	505					
上 青 銅 鑄 物	828	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◆ 369	◆ 365	◆ 371	◆ 367					
並 青 銅 鑄 物	826	815	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	305	300	305	300					
上 青 銅 鑄 物 削 粉	821	—	〃 90 %	283	278	283	278					
並 青 銅 鑄 物 削 粉	811	800	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	407	402	410	405					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1055	鑄 物 用 C2BS	432	427	434	429					
〃 (鑄 物)	942	—	青 銅 合 金 地 金 3 種	1575	1565	1610	1600					
リ ン 青 銅 削 粉	860	853	〃 6 種	1265	1255	1300	1290					
新 切 洋 白 (電 子 材)	872	860	ハ ン ダ 錫 60 %	2720	2680	2740	2710					
新 切 亜 鉛	243	243	〃 50 %	2350	2300	2370	2340					
ダ イ カ ス ト く ず	208	208	〃 40 %	2045	1985	2000	1970					
亜 鉛 ド ロ ス	186	197	減 摩 合 金 2 種	3960	3930	3965	3935					
上 鉛	148	146	〃 4 種	3375	3350	3380	3350					
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	〃 7 種	1190	1140	1190	1140					
活 字 鉛	133	130	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8 ス テ ン レ ス 新 切		75	75					
新 切 ア ル ミ 1 級	237	239		〃 ダ ラ イ 粉		60	60					
新 切 サ ッ シ 1 級	237	237		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316		240	240					
新 切 合 金 1 級	222	217		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310		415	415					
機 械 鑄 物 1 級	165	172		13 ク ロ ー ム 新 切		21	24					
ピ ス 付 サ ッ シ P	195	192		ハ イ ス 9 種		265	265					
合 金 削 粉 P	110	115										
込 ガ ラ P	105	107										
カ ン ・ バ ラ	160	161										

非鉄金属材料相場面

PW : nikkin202210